

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年4月25日

東

上場会社名 インフォコム株式会社 上場取引所 東
コード番号 4348 URL <https://www.infocom.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 淳
問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 今福 浩 (TEL) 03-6866-3160
定時株主総会開催予定日 2024年6月24日 配当支払開始予定日 2024年6月26日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 有 2024年3月期決算説明会資料
決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	84,453	20.1	9,784	14.8	9,893	15.1	6,609	85.0
2023年3月期	70,342	8.9	8,526	△15.6	8,595	△15.7	3,572	△48.3

(注) 包括利益 2024年3月期 6,533百万円(80.1%) 2023年3月期 3,627百万円(△36.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	120.50	120.02	14.1	15.5	11.6
2023年3月期	65.20	64.93	8.0	14.6	12.1

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	67,324	49,158	72.4	888.43
2023年3月期	60,287	45,194	74.3	817.96

(参考) 自己資本 2024年3月期 48,761百万円 2023年3月期 44,816百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	9,184	△3,970	△2,940	37,888
2023年3月期	8,137	△1,231	△3,076	35,575

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	18.00	—	32.00	50.00	2,739	76.7	6.2
2025年3月期(予想)	—	18.00	—	27.00	45.00	2,469	37.3	5.3

(注) 2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 27円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,500	11.1	4,300	2.9	4,300	1.5	2,900	2.7	52.87
通期	94,000	11.3	11,000	12.4	11,000	11.2	7,300	10.4	133.09

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	57,600,000株	2023年3月期	57,600,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	2,714,682株	2023年3月期	2,809,562株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	54,849,956株	2023年3月期	54,785,373株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	21,446	6.7	1,780	△9.0	18,511	246.2	17,800	671.9
2023年3月期	20,109	△3.3	1,958	7.2	5,347	11.3	2,306	△43.5
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	324.52		323.24					
2023年3月期	42.09		41.92					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期	49,393		40,341		81.3		731.41	
2023年3月期	46,416		25,307		54.1		458.01	

(参考) 自己資本 2024年3月期 40,143百万円 2023年3月期 25,094百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法について)

当期決算説明会資料は、TDnetで同日開示するとともに、説明動画と合わせて当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、「United Innovation “価値共創 and beyond”」をスローガンに[成長の追求]と[成長を支える経営基盤強化]を基本方針とする中期経営計画(2023~2025年度)を推進しています。

[成長の追求]では「社会課題への貢献を通じた価値共創」「電子コミックとヘルスケアでの成長継続と海外展開」「サービス化の継続推進」「成長領域への投入資源集中」を主要な施策として、また[成長を支える経営基盤強化]では「人材力の強化」に取り組み、業績目標の達成を目指します。

同計画初年度の当連結会計年度における当社グループの経営成績は、売上高84,453百万円(前期比20.1%増)、営業利益9,784百万円(同14.8%増)、経常利益9,893百万円(同15.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6,609百万円(同85.0%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① ネットビジネス・セグメント

重点事業の電子コミック配信サービスにおいて、[国内配信事業の利益ある成長][市場の拡大(海外展開)][事業領域の拡大]を基本方針に各種施策に取り組みました。その結果、従量課金コースが活性化したことに加え、ヒット作品に恵まれ、売上高57,127百万円(前期比23.5%増)、営業利益7,549百万円(同24.9%増)と、前期に比べ大幅に増収増益となりました。

同セグメントでは、事業領域の拡大を図る新たな取り組みとして、「めっちゃコミック」を運営する連結子会社の(株)アムタスが、今後成長が見込まれるファンコミュニティ市場における事業探索を目的に、韓国の(株)ビーラプトと資本業務提携しました。

② ITサービス・セグメント

病院向け事業が堅調に推移したことに加えM&Aの実行も寄与し、売上高は27,325百万円(前期比13.4%増)となりました。営業利益は売上構成差及びサービス化に向けた先行投資を継続したことにより2,315百万円(同6.8%減)となりました。

重点事業のヘルスケア事業では、製品ラインナップ拡充とともに中小規模医療施設市場への展開を加速するため、クラウド及びAI画像解析技術を用いた医用画像診断システムを自社で開発・提供する(株)ジェイマックスシステムの連結子会社化を行いました。海外事業領域の展開では、インドネシアでクリニック運営とクリニックマネジメントシステムを開発・提供するKlinik Pintar Technologies Pte. Ltd.と戦略的資本・業務提携契約を締結し、東南アジア向け医薬品情報システムの提供を開始しました。また、新規事業の基盤確立に向けて外国人介護人材紹介サービスに本格参入しました。

企業向け事業では、災害・危機対応サービスの付加価値向上と新サービスの創出等を目的に、AI危機管理サービスの(株)Specteeとの資本業務提携を進める等、成長に向けた資本投資を実行しました。

同セグメントでは、サービス領域の拡大を図るため、既存製品の新バージョン開発やクラウドサービスの機能改善・展開等を推進しました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産は、現金及び預金の増加、売上債権の増加、投資有価証券の取得等による投資その他の資産の増加及び(株)ジェイマックスシステムを子会社化したことによる資産の取得並びにのれんの発生等により前連結会計年度末と比較して7,037百万円増加し、67,324百万円となりました。

負債は、支払債務の増加、未払法人税及び契約負債等の増加により、前連結会計年度末と比較して3,073百万円増加し、18,166百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金が配当金の支払により減少した一方で、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により前連結会計年度末と比較し3,963百万円増加し、49,158百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は37,888百万円となり、前連結会計年度末より2,312百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主たる増減要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって得られた資金は9,184百万円（前年同期は8,137百万円）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益9,812百万円（同6,342百万円）、非資金項目である減価償却費1,208百万円（同954百万円）の調整等により増加し、売上債権及び契約資産の増加1,245百万円（同836百万円）、法人税等の支払3,257百万円（同3,078百万円）等により減少したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は3,970百万円（前年同期は1,231百万円）となりました。これは主に連結子会社化した㈱ジェイマックスシステムの株式の取得による支出1,331百万円（前年同期はなし）、投資有価証券の取得による支出1,177百万円（同655百万円）及びソフトウェア等無形固定資産の取得による支出1,125百万円（同1,047百万円）等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は2,940百万円（前年同期は3,076百万円）となりました。これは主に配当金の支払2,741百万円（同3,013百万円）によるものです。

(4) 今後の見通し

日本経済は、消費者の実質賃金の上昇やインバウンド需要の拡大、AI活用やDX推進による生産性の向上を目的とした設備投資等により景気回復が期待される一方で、国際情勢の不安定化やエネルギー資源・原材料価格の高騰に加え人手不足や2024年問題の影響等、懸念材料が残り不透明な経営環境が続くと予測されます。

電子書籍市場は、Webtoonと呼ばれる縦スクロールの電子コミックが人気を得て、新規参入も増加し競争が激化する一方で、二極化が進んでいます。また、一時的な特需の時期から落ち着いた状況となりましたが、成長基調が継続すると予測しています。

IT関連市場は、人手不足を補うIT化の推進や既存システムのクラウドサービスへの移行等を中心に、企業や医療機関等のIT投資は進展すると予測しています。

このような環境の中で、当社グループは、[成長の追求]と[成長を支える経営基盤強化]を基本方針に、電子コミックとヘルスケアを引き続き重点事業と位置づけ、中期経営計画（2023～2025年度）を推進します。

これにより、2025年3月期の通期連結業績は、売上高94,000百万円（当年度比11.3%増）、営業利益11,000百万円（同12.4%増）、経常利益11,000百万円（同11.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益7,300百万円（同10.4%増）と予想しています。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準を適用しています。

将来のIFRS適用に備え、グループ決算体制や社内マニュアル等の整備を進めており、その適用時期についても検討しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,575	37,888
受取手形	114	135
売掛金	11,263	12,586
契約資産	379	631
棚卸資産	83	111
その他	1,695	1,666
貸倒引当金	△0	△9
流動資産合計	49,111	53,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	750	807
減価償却累計額	△155	△239
建物及び構築物（純額）	595	567
機械装置及び運搬具	1	1
減価償却累計額	△0	△0
機械装置及び運搬具（純額）	1	0
工具、器具及び備品	1,382	2,008
減価償却累計額	△849	△1,158
工具、器具及び備品（純額）	532	849
リース資産	265	208
減価償却累計額	△254	△182
リース資産（純額）	10	25
建設仮勘定	0	0
有形固定資産合計	1,140	1,443
無形固定資産		
ソフトウェア	2,198	2,562
のれん	419	798
その他	33	803
無形固定資産合計	2,650	4,164
投資その他の資産		
投資有価証券	4,800	5,630
関係会社株式	53	53
繰延税金資産	1,661	1,851
その他	871	1,172
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,385	8,705
固定資産合計	11,176	14,313
資産合計	60,287	67,324

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,212	6,044
リース債務	12	11
未払金	1,992	2,384
未払法人税等	1,437	1,871
未払消費税等	849	1,135
契約負債	3,142	3,530
賞与引当金	1,302	1,390
その他	668	1,045
流動負債合計	14,619	17,413
固定負債		
リース債務	6	19
退職給付に係る負債	67	85
繰延税金負債	-	236
その他	399	411
固定負債合計	474	753
負債合計	15,093	18,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,590	1,590
資本剰余金	1,485	1,618
利益剰余金	41,961	45,829
自己株式	△790	△763
株主資本合計	44,246	48,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	390	195
為替換算調整勘定	178	291
その他の包括利益累計額合計	569	487
新株予約権	213	197
非支配株主持分	164	198
純資産合計	45,194	49,158
負債純資産合計	60,287	67,324

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	70,342	84,453
売上原価	37,100	44,282
売上総利益	33,241	40,170
販売費及び一般管理費	24,715	30,386
営業利益	8,526	9,784
営業外収益		
受取利息及び配当金	119	82
保険解約返戻金	8	33
その他	7	5
営業外収益合計	135	121
営業外費用		
支払利息	1	3
為替差損	3	3
パートナーシップ損失	59	4
その他	1	0
営業外費用合計	66	13
経常利益	8,595	9,893
特別利益		
固定資産売却益	-	11
投資有価証券売却益	-	29
子会社株式売却益	-	267
特別利益合計	-	307
特別損失		
減損損失	728	199
固定資産除却損	3	25
投資有価証券評価損	1,519	163
その他	1	-
特別損失合計	2,252	388
税金等調整前当期純利益	6,342	9,812
法人税、住民税及び事業税	2,969	3,381
法人税等調整額	△187	△184
法人税等合計	2,781	3,196
当期純利益	3,560	6,615
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△11	6
親会社株主に帰属する当期純利益	3,572	6,609

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	3,560	6,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121	△195
為替換算調整勘定	187	113
その他の包括利益合計	66	△82
包括利益	3,627	6,533
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,636	6,526
非支配株主に係る包括利益	△8	6

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,590	1,480	41,402	△792	43,680
当期変動額					
剰余金の配当			△3,013		△3,013
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,572		3,572
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		4		2	7
譲渡制限付株式報酬		0		0	0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	5	559	2	566
当期末残高	1,590	1,485	41,961	△790	44,246

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	512	△6	505	220	173	44,579
当期変動額						
剰余金の配当						△3,013
親会社株主に帰属する 当期純利益						3,572
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						7
譲渡制限付株式報酬						0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△121	185	63	△7	△8	47
当期変動額合計	△121	185	63	△7	△8	614
当期末残高	390	178	569	213	164	45,194

当連結会計年度(自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,590	1,485	41,961	△790	44,246
当期変動額					
剰余金の配当			△2,741		△2,741
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,609		6,609
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		10		5	15
譲渡制限付株式報酬		152		21	173
連結子会社の増資による 持分の増減		△29			△29
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	132	3,868	26	4,027
当期末残高	1,590	1,618	45,829	△763	48,274

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	390	178	569	213	164	45,194
当期変動額						
剰余金の配当						△2,741
親会社株主に帰属する 当期純利益						6,609
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						15
譲渡制限付株式報酬						173
連結子会社の増資による 持分の増減						△29
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△195	112	△82	△15	33	△64
当期変動額合計	△195	112	△82	△15	33	3,963
当期末残高	195	291	487	197	198	49,158

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,342	9,812
減価償却費	954	1,208
減損損失	728	199
株式報酬費用	36	52
のれん償却額	111	97
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△34	101
受取利息及び受取配当金	△119	△82
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,519	163
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△296
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△836	△1,245
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3	21
その他の資産の増減額 (△は増加)	101	53
仕入債務の増減額 (△は減少)	835	790
未払金の増減額 (△は減少)	639	406
その他の負債の増減額 (△は減少)	606	814
小計	10,879	12,103
利息及び配当金の受取額	113	76
利息の支払額	△1	△3
法人税等の支払額	△3,078	△3,257
法人税等の還付額	225	265
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,137	9,184
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△168	△457
無形固定資産の取得による支出	△1,047	△1,125
投資有価証券の取得による支出	△655	△1,177
投資有価証券の売却による収入	-	37
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,331
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	174
差入保証金の差入による支出	△129	△218
差入保証金の回収による収入	771	10
その他	△2	117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,231	△3,970
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△23	△16
配当金の支払額	△3,013	△2,741
その他	△39	△182
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,076	△2,940
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	39
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,874	2,312
現金及び現金同等物の期首残高	31,700	35,575
現金及び現金同等物の期末残高	35,575	37,888

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「ネットビジネス・セグメント」及び「ITサービス・セグメント」の2つを報告セグメントとしています。

「ネットビジネス・セグメント」は、消費者に対して、スマートフォン等向けの電子コミック配信サービス等を展開しています。

「ITサービス・セグメント」は、企業、医薬・医療機関、介護事業者や公共、教育研究機関等に対して、情報システムの企画・開発・運用・管理等のITサービスを提供しています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	ネットビジネス	ITサービス	計	調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額(注2)
売上高					
外部顧客に対する売上高	46,244	24,097	70,342	—	70,342
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	210	211	△211	—
計	46,245	24,308	70,553	△211	70,342
セグメント利益	6,042	2,483	8,526	△0	8,526
セグメント資産	28,842	18,002	46,845	13,442	60,287
その他の項目					
減価償却費	184	770	954	—	954
のれん償却額	—	111	111	—	111
減損損失	27	700	728	—	728
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	227	1,004	1,231	—	1,231

(注) 1. 調整額は、以下のとおりです。

① セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用です。

② セグメント資産の調整額13,442百万円は、本社管理部門に対する債権の相殺消去等17,183百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産30,625百万円が含まれています。全社資産は、主に当社での現金及び現金同等物、管理部門に係る資産等です。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	ネットビジネス	ITサービス	計	調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額(注2)
売上高					
外部顧客に対する売上高	57,127	27,325	84,453	—	84,453
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	181	182	△182	—
計	57,128	27,506	84,635	△182	84,453
セグメント利益	7,549	2,315	9,865	△80	9,784
セグメント資産	19,860	21,964	41,825	25,499	67,324
その他の項目					
減価償却費	204	1,003	1,208	—	1,208
のれん償却額	—	97	97	—	97
減損損失	—	199	199	—	199
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	182	1,419	1,601	—	1,601

(注) 1. 調整額は、以下のとおりです。

- ① セグメント利益の調整額△80百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用です。
 - ② セグメント資産の調整額25,499百万円は、本社管理部門に対する債権の相殺消去等4,847百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産30,346百万円が含まれています。全社資産は、主に当社での現金及び現金同等物、管理部門に係る資産等です。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	817.96円	888.43円
1株当たり当期純利益	65.20円	120.50円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	64.93円	120.02円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,572	6,609
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,572	6,609
普通株式の期中平均株式数(株)	54,785,373	54,849,956
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	230,969	218,557
(うち新株予約権(株))	(230,969)	(218,557)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	45,194	49,158
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	377	396
(うち新株予約権(百万円))	(213)	(197)
(うち非支配株主持分(百万円))	(164)	(198)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	44,816	48,761
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	54,790,438	54,885,318

(重要な後発事象)

該当事項はありません。